

# 大学院 医学研究科

基礎医科学専攻  
臨床医科学専攻  
医科学専攻( 修士 )

Graduate School

of Medicine



近年の医学と関連領域の状況は著しく変化しています。各個人の遺伝情報をもとにしたテーラード医療や再生医療の登場、超音波や高速X線断層撮影やPETなどの医用工学の発達による画像診断学の進歩、コンピュータを利用した高度な情報化と国際化、高齢化社会への急速な移行と疾病構造の変化、地球規模の環境破壊と健康被害など、現代の医療が対応に迫られている問題は多岐にわたっています。

大学院医学研究科では、このような医学的および社会的な要望に応え、レベルの高い教育を行い、21世紀の医学医療の発展に貢献し、市民中心の医療を推進して行くための優れた人材を養成することを目的としています。都市医学、老年医学や遺伝子治療など新しく発展してきた医学・医療分野に十分対応するため、平成12年度には医学研究科博士課程を主体とする大学院の再編成を行い、現在博士課程は、基礎医科学専攻と臨床医科学専攻の2専攻とし、8つの大講座で構成されています。また今後の医学・医療の裾野の拡大により、新たに幅広い人材を育成する必要があると考え、平成14年度から医科学専攻の修士課程を設置しました。本課程は、社会人の受け入れに対して、教育方法や授業実施方法に十分な配慮が必要と考え、昼夜開講制を導入し

多様な要望に対応できるように工夫しています。学術研究の学際化と高度化を進め、総合化された専門知識を持つ医師および独創性に富む医学研究者の育成を目指すと同時に、より高度な知識や技術を身につけた医療従事者、医薬関連研究者・企業人の育成に努めます。



大都市大阪の高度先進医療を目指して